

# 御神札などの数え方

神社に関する事物の数え方は、神社や神さまを敬って用いられるようになった独特の数え方があります。御神札や御守などは<sup>おふだ</sup>一体、二体。神輿や石灯笼などは一基、二基。神社は一社、二社。御祭神については一柱、<sup>はしら</sup>二柱と数えます。柱という言葉には古来、神霊の宿る樹木を御神木として神聖視してきたことや、木や柱を神座としてきたことなどが理由として考えられます。

